

慢性腎臓病（CKD）重症化予防事業（令和7年5月～）

目的

腎不全予防に向けた生活習慣改善のための保健指導や医療機関への受診勧奨を行うことにより、腎機能の低下を防ぎ、**健康の保持増進**を図る。また、透析導入者の減少による**医療費の削減**を推進する。

対象

吹田市国保健康診査受診者のうち、尿検査及び血液検査の結果からCKD重症度リスクが高い者。
年間400名程度予定

実施内容



1 郵送物（啓発文書）を送付



2 電話、訪問、面接による
保健指導と受診勧奨を実施



対象者

郵送物



圧着はがき（本事業のみ対象者）



リーフレット（他事業と重複した対象者）



対象者の反応

「はがきをもってかかりつけ医に相談に行った。」「腎臓についての指導は受けたことが無かったため驚いた。」といった声が多く聞かれました。

また、かかりつけ医のない対象者について、本事業を機に医療機関受診につながったケースもみられています。

その他

本事業の開始に向けCKD診療体制構築のための医師向け研修会も開催したため、診療体制が構築されることにより、本事業対象者に加えその他の人についても適切にCKD診療が行われることを目指しています。

転倒・骨折予防対策モデル事業（大阪府国保ヘルスアップ支援事業）

事業の概要

大阪府から大阪大学に事業を委託。本市はモデル市として参画。
生活活動実態調査や骨粗しょう症検診・国保健診の結果、また参加希望者に対し開催する身体機能やバランス能力の測定会等の結果を大阪大学が分析し、転倒リスクを軽減させる介入方法を検討する。

対象者

過去5年間に吹田市の骨粗しょう症検診と吹田市各種健診を受診している50歳以上の者：計**4283名**
（令和7年4月1日時点国保加入者）

実施内容

令和7年度

測定会概要



〈回数〉
4回実施予定

〈定員〉
計200名

〈測定内容〉
体組成、バランス測定、AI歩容、活動量測定
（2週間の活動量計の貸し出し、活動の記録）

10月7日	内本町コミュニティセンター
10月10日	北千里市民体育館
10月14日	千里市民センター
10月21日	片山市民体育館



アンケート調査

8月20日発送

測定会参加者募集

測定会

参加者への測定結果のフィードバック

教材開発・手法の検討

データ分析

評価

市町村報告会
（オンライン予定）

地域別の身体活動の傾向・特徴の分析
結果の可視化資料作成

令和8年度

測定会を実施（測定項目は、令和7年度とほぼ同様）
アンケート：行動変容や意識の変化に結び付きやすいポイントについて、探索的に検討する

令和9年度

市町村横展開とポイント集の作成